

期間入札における「くじ」の方法について

1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

入札者が、くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄に、入札書提出時にあらかじめ任意の3桁のアラビア数字「000～999」を記入します（「0」の桁も記入が必要です）。

なお、記入のない場合や1文字でも判別できない数字がある場合等は、「999」をくじ番号とみなします。

2 くじの手順

- (1) 同額入札者に、白石市競争入札参加承認番号の下3桁の小さいものから順に「抽選番号」（0，1，2，3，…）を付与します。
- (2) 同額入札の入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札者の数で除し、「余り」を算出します。
- (3) 上記(1)の「抽選番号」と上記(2)の「余り」が一致した者を落札者とします。

例) 入札参加者4者が同額入札の場合

(1) 「抽選番号」を付与

業者名	白石市競争入札 参加承認番号	抽選番号を付与
A社	051	0
B社	137	1
C社	142	2
D社	657	3

(2) くじ番号の和を求め、同額入札者数で除し、余りを算出

業者名	くじ番号
A社	040
B社	852
C社	291
D社	999



$$040 + 852 + 291 + 999 \\ = 2182$$

$$2182 \div 4 \text{ 者} = \text{商} 545 \text{ (余り} \dots 2 \text{)}$$

(3) 落札者の決定

業者名	抽選番号	抽選結果
A社	0	
B社	1	
C社	2	落札決定
D社	3	